

自治会連合会会報

第 19 号

自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えての自主防災活動や要援護者の避難支援、青少年の健全育成、交通安全パトロール、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。地域の輪を広げるため、自治会・町会・地区・区に加入しましょう。



平成26年8月、古利根公園橋で開催された「夕涼みフェスタin公園橋」

主な内容

- 我が街の活動紹介
- 各研修会報告
- 地域貢献賞表彰報告
- 自治会連合会の加盟要件
- 自治会加入促進に向けた取り組み
- 幸松地区の紹介
- 自治会連合会役員一覧
- 地域ぐるみでオアシス運動

平成26年度活動報告

- 正副会長会議…………… 平成26年 4月22日他 7回
- 理事会…………… 4月22日他 6回
- 定例総会…………… 5月16日
- 自治会活動の手引き発行…………… 5月16日
- 他市からの視察(市原市町会長連合会)…………… 5月23日
- 春のクリーンデー…………… 5月25日
- 各地区体育祭の実施…………… 10月12日
- 研修会(講演・地区事例発表)…………… 10月28日
【演題】「新しい町内会・自治会をつくろう！」
～自治会への参加者を増やして、地域の力を向上～
【地区事例発表】「粕壁地区 内谷町会」
- 役員研修会…………… 11月18日
- 研修会(講演)…………… 平成27年 2月14日
【演題】「女性の力を自治会活動に活かす」
- 地域貢献賞表彰…………… 2月14日

【協力事業】

- ★日赤社員・社協会員の増強への協力
- ★赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力
- ★マイバッグ持参運動の推進に伴う、容器包装ごみの削減に協力
- ★災害時要援護者避難支援制度へのモデル自治会として協力
- ★ごみの5分別収集への協力
- ★自主防災・防犯活動への協力

【その他】

- ★各種審議会等への委員選出
- ★各種行政機関との連絡調整
- ★東日本大震災で被災された方々への義援金及び支援金募金活動 等

我が街の活動紹介

● 順不同 ●

春日町町内会



会長 齋藤富男

春日町町内会は、春日部駅東口に御鎮座の「神明神社」を囲む様な形で、100数軒の小さな所帯です。

町史をひもとくと、昭和2年4月に上町と分離し、新生「春日町」が発足しました。

昭和63年には、区画整理・再開発事業により、映画館「東武座」の跡地にマンションが完成し、入居全戸数の方々が町内会に加入しており、現在に至っております。町内会組織は6組に分けて、回覧・広報等、各組長さんに協力頂いております。

小さな町内会ではありませんが、「古利根川清掃」「春のクリーン



夏まつり

デー」「市民夏まつり」「地区体育祭」等、行事は町内会一体で、参加運営致しております。特に、「市民夏まつり」は市外・県外に引越した方達も参加して、1年に1回旧交を温めあつていきます。

近年は、何処の町内会も共通の悩みとなっておりますが、会員の高齢化もあり、運営も大変ななっています。特に、「地区体育祭」は選手集めが大変ですが、何事も一生懸命参加してれば、いい事もあるもので、26年度地区体育祭(混成リレー小学生の部)では、見事優勝し、快挙達成の号外を町内中に回覧し、町内一同にて御祝いしました。

今後とも役員一同、何事にも一生懸命努力して参りますので、今まで同様、御指導・御協力を宜しく御願ひ申し上げます。

内牧四区地区



地区長 野村三男

内牧四区地区は、北春日部駅と内牧小学校の中間に位置し、地区の中央には内牧小学校とも所縁のある鷺香取神社があり、市街化区域と調整区域が混在する閑静で緑の多い地域です。

当地区は四方谷自治会、戸崎自治会、日和会自治会の3自治



防災訓練

会が構成される連合体となっており、全体の自治会員は215世帯で33班編成により各々活動をしております。

3自治会合同の行事としては、5月の春のクリーンデー、10月の地区体育祭、12月の自主防災訓練があります。

各自自治会単位の主な行事としては、高齢者を対象としたふれあいサロン、子育てを支援するお楽しみ子供会、会員相互の親睦を目的とする親睦旅行・親睦ゴルフ大会、地域の安全を守る地区内防犯パトロール等々を定期的に開催しているほか、近隣地区との合同夏祭り、バーベキュー大会、餅つき大会などの恒例行事を毎年行うことにより地域コミュニティの充実に努めています。

特色のある自治会では、体育祭参加者の昼食作りを炊き出し訓練と位置付け、防災意識と連

帯感の高揚を図るとともに、児童のいる世帯に「応援兼お菓子引換券」を配布、テント内には敬老席を設けるなど三世代での交流と全員参加の促進を図っています。また、夏は子供達で、冬には初詣で賑わう由緒ある鷺香取神社を地域の鎮守様として地域ぐるみで大切に護っています。

今後も変化する社会構造と会員のニーズに対応した自治会活動を心掛け、「地域の和」をモットーにお互いが助け合い支え合う地域社会を目指して参ります。

そして、会員の方々が「この地区に住んで良かった」と思える地域づくりのため、役員一丸となり自治会運営を推進して参りますので、皆様のご指導とご協力をお願い致します。

備後東六丁目地区自治会



自治会長 関口守弘

備後東六丁目地区自治会は、東側を国道4号線、西側を東武スカイツリーラインに囲まれ、武里駅と一ノ割駅の間にある正善小学校を取りまく位置にあります。世帯数は280世帯です。

事業活動といたしましては、備後下地区合同運営会として、5自治会で行われています。備後下自治会、備後田島自治会、

正善第一自治会、正善第二自治会、私達備後東六丁目地区自治会で活動しております。

5月は春のクリーンデー、夏は7月に納涼祭を正善小学校で行いました。10月の武里地区体育祭には、備後下地区として参加しました。11月には防災訓練があり、その時には、大場東口自治会、東急武里自治会も一緒に参加して、7自治会約250名が参加して行われました。本年度は、水消火器、三角巾の結び方、地震体験車で東日本大震災の時の震度6弱の体験をしていただきました。12月には餅つき大会を備後正善公園にて開催、「至会員参加」の呼びかけを行い、大変好評でした。

また、ボランティア活動といましては、正善小学校と連携し、児童の登下校時間にあわせて安心・安全パトロールを実施しております。特に、下校時



防犯パトロール

間は毎月学校から予定表を配布していただきますので、大きな事故事件は発生しておりません。今後も、子供達の安心・安全を確保していきたいと思っております。

当自治会も高齢化が進んでいるため、地域住民のコミュニケーションを図り、今後も安全で安心できる住み良い街づくりをめざし、隣接自治会と協力しながら、自治会活動の活性化に努めていきたいと思っております。

大場東口自治会



自治会長 大出利衛

大場地区が武里駅周辺から西に向かって広がっているなかで、唯一武里駅の東口にあるのが私たちの大場東口自治会です。

会員は、住民と地域内事業者により構成されていますが、集合住宅の取り壊し等があり残念ながら会員数は、事業者数を含めて150世帯を下廻る規模に減少しています。小ぶりの自治会のため、武里地区体育祭や合同防災訓練では関係各自治会のご助力をいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

自治会活動は、会員相互の理解を深めるための親睦に重点を置き、老若男女誰でも参加でき



秋のレクリエーション

るよう、二つの事業を積極的に推し進めてきました。その一つが「秋のレクリエーション」で、日帰りバス旅行(復興支援ツアーや施設見学ツアーなど)やバーベキュー大会を催しています。

前年度の参加度合いを見ながら、年度初めから役員会で時間をかけて検討を重ねています。もう一つは「餅つき大会」です。従

来は2月初旬に実施していましたが、前年度は運営メンバーの負担に配慮し寒気の穏やかな12月前半に時期を繰り上げました。

一方、当自治会においては昨年4月から5月にかけて、5名の方がご病気により立て続けに逝去されました。高齢社会に対応するためにも健康維持・増進活動が改めて大きな課題となっております。真摯に向き合っていきたいと考えています。

花積西自治会



自治会長 富澤千明

花積西自治会は、昭和40年初頭、県による分譲地開発により出来た街で牛の角のような形で岩槻区に食い込んだ地域にあり、生活基盤である買い物や交通手段は東岩槻を利用しています。現在、第一世代、その後の開発で移り住んだ世代、代替わりした次世代、集合住宅の若者世代で構成されています。従って古くから居る地域での名門や地主さん、商店等のない住宅街となっています。

自治会活動は、第一世代から次世代に取って代わる転換期にある中で行われています。

特に、当自治会は第一世代の活動が盛んで、コーラス部は90



防災訓練

歳を超えた方を含む平均年齢75歳という人生経験を生かした混声四部の豊かなハーモニーで一聴に値すると思います。(You Tubeの「横崎剛志、プラチナコーラス」で試聴できます) 他には自治会員による講義を聞きながらの歴史散歩やバス旅行、ゲーム部を標榜するマジシャン倶楽部、女性仲良しクラブの手芸部、三世代交流親睦会、その他に災害を想定しての防災訓練や災害講話等多彩な活動を行っています。「花積西自治会」ホームページをご覧ください。 会員のほとんどがサラリーマン経験があり、様々な経験を生かしてのグループ活動もスムーズに行われ、特にプラチナ会での活動は、周辺地域からは「ああ、あのプラチナ会ね」と評判は上々です。そのプラチナ会は、平成26年春日部上部団体から離脱し独自に羽ばたこうとしています。 当自治会は、他地域と同様、少子化問題、高齢者の一人住まいに対するケア、若年層の多い集合住宅の自治会離れ等の問題はありませんが、プラチナ会という心の絆と親睦活動の実績を充分生かし、近い将来訪れるであろう震災をはじめとする災害に対する備えと心構えを培い、「仲間意識」と「防災に対する安心」を車の両輪と考え活動して行きます。



向島地区

地区長 岩本利夫

向島地区は、庄内古川（中川）の西側に沿って、南北約1kmに約70世帯がまとまって居住している地域です。地区内は8組に分けて組織しています。周囲は田に囲まれ、散歩をしている人と挨拶を交わす姿をよく見かけます。

自治会の主な行事は、5月の春のクリーンデー（地区内のみや空き缶等拾い、公園・広場の整備・除草・樹木の伐採等）、8月の向島地区夏祭り（集会所にて暑気払い）、11月の向島地区防災訓練（通報・消火器消火・救命救急・炊き出し等）、秋のクリーンデー、1月の新年会、3



公園の美化活動

月の総会です。そのほか、毎月組ごとに交代で、集会所清掃・防災点検を行っています。

過去に地区内で火災が発生し、家屋が消失したことを契機に、防災意識が高くなっています。防災訓練は、消防署等のご指導のもと、毎年多くの参加者があり、熱心に訓練を行っています。消火器・ホース・防災水槽・サイレン等の防火用具・設備は、地区内の各要所に配置され、点検も毎月しっかり行われています。

クリーンデーは、用事がない限りは、各家庭から必ず1名は参加しますし、そのほかの行事も多く参加者があります。これは、行事の大切さを理解して参加しているだけでなく、隣近所の住民の絆の強さ、互いに協力して地域を良くしようとする意識の高さの顕れからであると思っています。

今後も行事等だけでなく、日常の繋がりを大切にし、安心・安全な地域、皆が住みやすい地域を目指していきたいと考えています。



豊野町自治会

自治会長 縄田信介

豊野町は4号バイパスと古利

根川に近接した新しい町で、昨年、自治会創立25周年を迎えました。設立当時の自治会員は90世帯弱でしたが、今は、480世帯を超え、会員も北海道から沖縄までの出身の人が多くなり、総会決議で「和を以て貴ぶと為す」という会是を定め、住民の融和を図っています。平成17年に認可地縁団体となり、地方自治法に則った自治会規約の下で、何事も一致団結の共同活動、地域発展を目指しています。

自治会は東西南北の4つの組に分割し、各組に組長1名、ブロック長3名と15世帯前後を1班とした班長9名を配置し、町内全部で36班としてそれを会長1名、副会長2名、会計1名、監査1名で総括しています。又、自治会維持会として監事会、理事會、自治会館運営委員会を設置し、更に自主防災会、自主防



羽根突き大会

犯会、自主環境会の3つの委員会で自治会を構築しています。豊野町自治会は、特定の人達のものではなく、「みんなのもの」との意識で行動している為、会員の5人に1人は自治会の役員につき、情報を共有するよう毎月広報例会を開催し、総会は、全員の出席を求めています。

会員の親睦を促進する為、夏は納涼祭、秋は地区体育祭に参加し、冬は「ふれあい広場」と「羽根突き大会」を開催。年末年始は班別夜間パトロールを実施。資源回収は毎月実施し、総事業は全員参加型で取り組んでいます。



新生四区

区長 富樫清年

新生四区は、南桜井駅南口から、野田方面に向かった線路に面した地域で、世帯数32で、庄和地域ではめずらしく小さな自治会です。役員は区長・副区長・会計・3人の班長さんで構成されており、近隣の新生一区から四区までが一体となり「新生地区区長会」として約200世帯で、代表・会計・事業担当2名で連携を取り合っています。

地域内にある新生公園及び集会所を利用し、毎月の草取り、

防災機材の点検を交替で行うとともに、集会所の清掃・リサイクル活動や、春と秋にはグラウンドゴルフ大会、8月には納涼夏祭り、防災訓練、12月には凧作りやフォークコンサートなどを開催し、一区から四区までの皆様が参加して下さっています。一年を通して素晴らしい区の連携が取れており、皆様に喜んでいただいております。



防災訓練



米島ニュータウン自治会



自治会長 小沼 範班

米島ニュータウン自治会はアーバンパークライン南桜井駅から南に約500M程の位置にあり、世帯数は264戸、総会員数684名からなる自治会です。役員、委員は1年間の任期で輪番制になっております。組織は会長1名、副会長2名、総務、企画、資源環境、防犯、施設、体育コミュニティの各委員長、副委員長、会計2名の16名と各委員16名(班長)の32名で運営しています。

自治会の年間活動は春の一斉クリン作戦作業を総員197名の参加者で実施。防犯パトロールについては、夜間パトロールを5名1組とし、月に4回を実施しております。また、川辺小の下校時、防犯パトロールを自治会員のボランティアで実施しており、子供達からも感謝されており、防災面では地震体験車を市の方へ依頼し、10月4日川辺小学校にて大勢の参加者が恐怖の体験を実施しました。

自治会員による親睦会は年1回実施しており、今年度は春日部駅前にて食事会を実施、大勢の参加者でさらに親睦を深め、有意義な1日を過ごす事が出来ました。

今年度の課題のひとつとしては、外谷津第2公園(中央公園)のリニューアル事業でした。3月からは市の公園緑地課と再三打ち合わせを行い、会員によるアンケートも実施しました。アンケートの集計を公園緑地課で実施し、9月よりリニューアル工事が着工され、4ヶ月間の工事がスタート。そして12月24日春日部市長、市議会議員、春日部市建設部長をお迎えし盛大なオープニングセレモニーを実施。最後にテープカットで終了しました。



外谷津第2公園オープニングテープカット



自治会連合会研修会報告(第1回)

平成26年10月28日、中央公民館にて自治会連合会研修会を開催し、講演会と地区事例発表を行いました。

講演会では、仙台高等専門学校准教授の小地沢将之(こちざわまさゆき)氏を講師に迎え、「新しい町内会・自治会をつくらう」自治会への参加者を増やして、地域の力を向上」をテーマに、みんなが参加できるまちづくりをするにはどうしたらよいか、各地で行われている地域活動の実例等も紹介しながら講演をしていただきました。

また、近年は地域活動に参加しない人が増える傾向にあり、担い手不足や地域との接点の枯渇等が懸念されている中、これからのまちづくりには、地域住民だけではなく、子どもの頃にその地域で活動した経験があり、現在は地域外に住んでいる人たちにも声をかけ、一緒にまちづくりを行っていくという柔軟な考えも必要であると話されました。『まちづくりは異なる世代・職業・地域が交



わるもの」という講師の言葉がとても印象に残りました。

地区事例発表は、地区全体または単位自治会で取り組んでいる活動を発表していただくもので、平成26年度からの新たな試みです。今後、各地区持ち回りで行っていく予定です。初年度は、粕壁地区・内谷町の齋藤会長が、町会活動の一環として上沖小学校の下校時見守り活動「内谷児童セーフティねっ」とについて発表しました。



「内谷児童セーフティねっ」とは、平成18年7月から始まり、約40人のメンバーで構成されています。低学年は下校時間が早く、高学年は遅いため、それぞれの下校時間帯に合わせて交代制で見守り活動をするなど、当番の割り振りに工夫をしています。子どもたちからのあいさつや地域の方々からの感謝の言葉が励みになっており、今後も引き続き子どもたちの安全が図れるよう頑張っていきたいと力強くお話をくださいました。

市原市からの視察研修会報告

平成26年5月23日、千葉県市原市町会長連合会の皆様(役員30名、事務局2名)が視察研修のため春日部市を訪問され、当自治会連合会と組織体制や活動内容等について意見交換を行いました。

研修会は、市原市町会長連合会からの質問を受ける形で進行了。また、後半には、自主防災や日頃の自治会活動などについて事例説明を行いました。

市原市は、11の地区に523の町会があり、平成25年4月現在の町会加入世帯数は約7万4千世帯、加入率は61.3%です。

自治会加入促進に向けた取り組みでは、転入者への働きかけや宅建業協会との連携協定など、当自治会連合会との類似点もあり、和やかな雰囲気の中での研修会となりました。

役員視察研修会報告

自治会連合会では、役員が毎年、先進的な活動を行っている自治体を訪問して、自治会活動の参考としています。今年度は、11月18日、自治会加入促進の取り組みをテーマに、栃木県宇都宮市を訪問しました。

宇都宮市は人口約51万6千人で、自治会連合会は787の自治会で構成されています。平成26年4月現在の自治会加入率は67.3%で、低下傾向にあるとのことでした。

宇都宮市における自治会加入促進の特徴的な取り組みの一つが、「加入促進強化月間」の実施です。加入促進マニュアルを作成し、各自治会が新たに3世帯の加入増を目指す「3ゲット作戦」を3か月に亘り実施しています。

もう一つは、「モデル重点地区」での加入促進であります。市内の5つのブロックから原則1地区のモデル地区を選定し、重点的に加入促進活動を実施。平成25年度は、187世帯が新たに自治会に加入するという成果がありました。その他、地元プロサッカーチームとの協力、就労時健康診断時の自治会加入促進チラシの配布、自治会長への共同住宅の新築情報提供など、多様な加入促進策についてお話を伺うことができました。

宇都宮市の取り組みをご紹介いただいた後、意見交換会を行いました。当自治会連合会からは、高齢者の退会防止のための具体的な方法について質問し、宇都宮市からは高齢者が地域と関わりを持ち続けられるよう声掛けをすることや、自治会内で実施している敬老事業の紹介がありました。また、不動産業界との連携、魅力的な自治会活動等についても話し合われました。



長野県北部の地震について

平成26年11月22日に、長野県北部を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。

最も大きな被害の出た白馬村では、住宅が倒壊して下敷きになるなどした住民が、近所の皆さんの協力により救出されました。

日頃からの住民同士のつながりがとても大切であることを再認識された方も多かったと思います。



自治会連合会研修会報告 (第2回)

平成27年2月14日、市民文化会館にて自治会連合会研修会を開催し、「女性の力を自治会活動に活かす」をテーマに、講師の宝井 琴桜 (たからい きんおう) 氏を講師にお招きしてお話をいただきました。

自治会活動に参加している方の高齢化や役員の担い手不足は、多くの自治会にとりまして共通の課題となっています。このような課題に対応するため、より多くの女性が地域の活動に参加し、男性も女性も住みよい地域を作っていくためにはどうしたらよいかなど、わかりやすく講演をしていただきました。

これからの自治会には、女性の参加がとても大切であることを改めて感じる事ができました。

また、講談独特のリズムとテンポによる語りに、会場からは多くの笑顔も見られました。



地域貢献賞表彰報告

当連合会では、身近な地域で地道にかつ立派な活動をされている方々の功績を讃えるため、平成20年度に地域貢献賞を創設し、今年度は平成27年2月14日に表彰をさせていただきました。ここに、受賞者のお名前を掲載し、長年地域に貢献いただいたことに深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には、地域活動に関心を高めていただき、心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりにご協力をよろしくお願い申し上げます。

○公共生活・生活安全・環境美化・社会福祉への貢献

自治会名	氏名
内谷町会	染谷 幸雄
立沼町会	用田 弘文
グリーンパーク春日部自治会	田口 正樹
栄町一丁目町会	飯塚 悦子
備後東六丁目地区自治会	村松 みち子
正善第二自治会	初澤 利男
一ノ割根耕地自治会	香山 昭二
大枝池の端自治会	渡邊 昭
谷原二丁目町会	兼子 喜與司
豊町東地区自治会	伊藤 富也
下蛭田中央自治会	山田 颯麒
八丁目新町地区	高野 康徳
小淵島自治会	横堀 潔
西不動院野地区	松本 保
本田上自治会	本田 幸子
荻原地区自治会	会田 よし
藤ヶ丘自治会	片寄 満洲男
新生二区	三浦 忠
米島駅南地区	佐藤 勇幸
新宿新田区	内藤 淳司
南桜井自治会	大森 三重子

*敬称略

自治会連合会の加盟要件

自治会連合会では、平成 17 年 6 月より連合会加盟の要件として、世帯数がおおむね 200 世帯以上であることを基準としてきました。

近年は、生活様式の多様化などにより自治会加入率は低下傾向にあり、自治会連合会では加入促進に向けた取り組みを積極的に進めています。また、大規模災害の発生や高齢化社会の急速な進展に対応していくためには、より多くの自治会に連合会へ加盟していただき、連合会自体の組織力を高めていく必要があります。

このため、自治会加入促進に向けた対策の一つとして、平成 26 年 10 月より、加盟要件について新たな基準を設け運用しています。

【26 年 9 月までの加盟要件】
◇世帯数おおむね 200 世帯以上



【26 年 10 月以降の加盟要件】
◇世帯数おおむね 100 世帯以上
◇団体として 1 年以上の活動実績

世帯数については、将来的にも安定した自治会の運営や活動を行っていくには、一定数は必要と考え、おおむね 100 世帯以上としています。また、団体としての活動実績については、新たに加盟要件に加えたものです。自治会の会計は 1 年を 1 サイクルとしていることから、連合会への加盟申込みをする団体が、規約・活動計画・役員・予算等を定め、地域的な共同活動を行っている状況を確認するため、1 年以上の活動実績を加盟要件にしています。

なお、世帯数要件を 200 世帯から 100 世帯へ引き下げたことは、連合会加盟自治会の分割を助長するものではなく、これまで連合会に加盟していない自治会の加盟を促すため実施したものです。

マンション等集合住宅の場合（特例）

マンション等集合住宅については、建物の構造上、100 世帯以上となりますと、大規模な建物に限定されるため、おおむね 50 世帯以上を加盟要件としています。

50 世帯以上による加盟については、区域の自治会で、集合住宅単独で連合会に加盟することがやむを得ない場合に限定しています。

※連合会への加盟申込みにあたりましては、あらかじめ連合会事務局（市民参加推進課）との事前相談をお願いします。

自治会加入促進に向けた取り組み

自治会への加入促進に向けた取り組みの中から、自治会加入促進に関する協定及び自治会加入促進実施計画について紹介します。

◎自治会加入促進に関する協定について

自治会連合会・公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会埼玉支部・春日部市の三者において平成 25 年 8 月に締結した協定により、埼玉支部の市内各加盟店において、住宅購入者やアパート・マンション等の賃貸契約者に、自治会加入促進のチラシを配布して自治会加入の働きかけを行っています。チラシを持参して自治会長宅を訪れ、自治会への加入申し込みをされる方が増えているという声も届いています。

さらに、平成 26 年度からは、同じく埼玉支部の市内各加盟店において自治会加入促進のポスターを掲示し、自治会加入の働きかけを強化しています。今後も、三者による連携を深めていきます。

◎自治会加入促進実施計画について

自治会連合会加盟自治会を対象に平成 25 年度に実施しました「自治会加入状況等に関する調査」の分析結果を踏まえて、「自治会加入促進実施計画」を策定しました。

【計画の主な内容】

この計画では、自治会加入促進を効果的かつ実効性のある施策とするため、

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 転入者及び転居者への加入促進 | 3 未加入者への加入促進 |
| 2 退会者の防止 | 4 自治会結成（連合会加盟）促進 |

の 4 つの観点から取り組んでいくこととしています。

転入者及び転居者への加入促進については、市民課窓口におけるチラシの配布などを継続すると共に、自治会の役員や班長が加入の呼びかけを行う際の参考となるように、自治会加入の必要性や勧誘の手法などを掲載した「自治会加入促進マニュアル」を作成します。

退会者の防止については、高齢者世帯の退会を抑制するため参考となる事例を作成し、各自治会に紹介していきます。また、会員の皆様が納得する自治会運営となるように、総会の議事の進め方や、自治会の会計を明確にするため予算決算の処理方法について参考となる資料も作成し、こちらも各自治会に紹介していきます。

未加入者への加入促進については、未加入の方に自治会の情報を広く周知するためホームページなどを効果的に活用するよう推奨していきます。また、一定の期間内に集中して加入促進活動を行う「自治会加入強化月間」を制定します。

自治会結成（連合会加盟）促進については、自治会連合会に加盟していない自治会や一定規模の集合住宅に対して、連合会加盟に向けた適切なアプローチを行っていきます。

今後、この計画に基づいて、自治会加入促進に向けた取り組みを順次実施していきます。

幸松地区の紹介

幸松地区は、市の中央北部に位置する、田園豊かな地域です。地区内を国道4号線と16号線が通る交通の要衝でもあります。

歴史的には、江戸時代日光街道の粕壁宿から北への通過点、関宿方面への分岐点として知られ、地区内には「道しるべ」と呼ばれた道路標識が多く建てられ、今もその幾つかを見ることができます。また、「浄春院」や「観音院」などの仏閣、「不動院野の神楽」といった無形文化財なども多数現存しています。自然遺産としては、国の特別天然記念物に指定されている樹齢千年以上を誇る「牛島のフジ」が、東武アーバンパークライン藤の牛島駅の近く、県道春日部松伏線沿いにあり、満開の時期には例年多くの人が見物に訪れて、季節の風物詩となっています。

大落古利根川沿いは、埼玉県が平成20年から県内100箇所にて行った「水辺再生100プラン」により、幸松地区内でも階段護岸や遊歩道などが整備され、地域の方々の憩いの場となっています。牛島にある児童センター「エンゼルドーム」は、クレヨンしんちゃんの像や親水広場も設置され、子どもたちでにぎわっています。

幸松地区では、23の地区・町会・自治会により幸松地区自治会連合会を組織しています。不審者などによる子どもたちの被害を未然に防ぐため、地域が一丸となって防犯活動に取り組むなど、安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指して、今後も自治会活動の充実に努めてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

幸松地区自治会連合会会長 石島 忠夫

●幸松地区自治会連合会(23自治会)

[敬称略]

自治会名	氏名
八丁目新町地区	岡田 友宏
八丁目上組地区	白石 和一郎
八丁目新仲町会	杉山 登
八丁目下組地区会	栗原 英之
八丁目新田自治会	大塚 武
八丁目五丁田地区	松本 利秋
小淵松河町地区	高橋 弘道
小淵追分自治会	柴田 秀
小淵本村地区	小関 彦長
小淵観音前自治会	江良 生治
小淵原前地区	荻原 政邦
小淵島自治会	菱沼 和保
東不動院野自治会	石島 忠夫
西不動院野地区	高崎 光英
樋籠第一地区自治会	市川 大倫
樋籠柳原地区	小林 政敏
向島地区	岩本 利夫
樋堀地区自治会	川口 清
新川地区	富山 幸夫
牛島一番組自治会	関根 茂夫
牛島二番組自治会	江川 清
牛島三番組自治会	山崎 清司
牛島四番組地区自治会	鈴木 敏仁

*連合会名簿順

(平成27年3月1日現在)

地域ぐるみでオアシス運動

オアシス運動は挨拶の言葉の頭文字をとったもので、

オ：「おはようございます」
 ア：「ありがとうございます」
 シ：「失礼します(失礼しました)」
 ス：「すみません(すみませんでした)」

を日ごろから言えるように、家庭・学校・地域などで「あいさつの輪」を広げましょう。

役職名	自治会名	氏名
会長	本田上自治会	時田 美野吉
副会長	元新宿町内会	関根 慶剛
	栄町二丁目町会	板倉 肇
	大畑自治会	海老原 武士
	上蛭田西自治会	吉田 敏雄
	東不動院野自治会	石島 忠夫
	東中野区	松嶋 昇
	立沼町会	並木 素生
理事	大池町会	寛田 吉一
	浜川戸町内会	渡辺 勝美
	大砂町内会	中村 正博
	内牧四区地区	野村 三男
	一ノ割新田・大沼自治会	金重 一夫
	大枝地区自治会	伊澤 秀雄
	5街区町会	唐澤 奈美子
	備後東六丁目地区自治会	関口 守弘
	備後須賀第四自治会	野村 幸男

役職名	自治会名	氏名
理事	大沼ゆりの木自治会	田代 一二
	増戸地区自治会	小暮 恵治
	新方袋連合自治会	山口 潤
	上蛭田地区	関根 金次郎
	八丁目下組地区会	栗原 英之
	牛島4番地区自治会	鈴木 敏仁
	六軒地区自治会	日向 武雄
	赤沼自治会	関根 寛治
	米島駅南地区	石田 慎一
	上柳区	坂巻 輝夫
事務局長	木崎区	新井 義昭
	八丁目新町地区	岡田 友宏
会計	正善第二自治会	上原 十九三
	三枚橋町内会	金子 武
監事	銚子口自治会	日向 敏男
	北部新宿区	今村 純雄

[敬称略]

自治会連合会役員一覧

編集後記

例年以上に寒さの厳しい冬でしたが、ようやく春風が心地よく感じられる季節になってまいりました。

本紙の表紙は、平成26年8月に開催されました「夕涼みフェスタ in 公園橋」の写真です。地元の自治会も協力し、多くの人でにぎわいました。こうしたイベントを通して地域への愛着を育むことは、住みよい地域を作っていくために大切であると改めて感じております。

今号から、市内各自治会の紹介のほか、当自治会連合会の活動内容についての記事が充実しています。これまで自治会活動に参加されている方はもちろん、新しく転入された方やこれまで自治会活動に参加されていなかった方にも当自治会連合会の活動を知っていただき、みんなで自治会活動を盛り上げていきたいと考えております。

今後とも自治会活動へのご参加・ご協力をお願い申し上げます。

編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 関根 慶剛
- 副会長 板倉 肇
- 副会長 海老原 武士
- 副会長 吉田 敏雄
- 副会長 石島 忠夫
- 副会長 松嶋 昇

発行日 平成二十七年四月一日
 発行者 春日部市自治会連合会
 事務局 春日部市役所市民参加推進課内
 ○四八(七三六)一一二七